

参院選勝利・戦争法廃止へ 6・5県民大集会を開催

総がかり・住民目線・野党3党で共催



しまね総がかり行動実行委員会と参院鳥取・島根選挙区の野党統一予定候補の福島浩彦氏を支える住民目線の会、日本共産党など野党3党は9日、県庁で記者会見し、6月5日に、くびきメッセで参院選に勝利して戦争法廃止をめざす県民大集会を開くと発表しました。(写真)

戦争法廃止の2000万署名が10万1千人分集まっており、6月末までに20万人をめざすとしました。

総がかり行動実行委の事務局長の井上寛司島根

地域の話題

江 子ども食堂に支援を
松 吉儀議員が質問

吉儀議員―夜間保育実施の無認可保育園は認可保育園がカバーしきれない部分を担っており、市として支援すべきではないか。また、一人親の子どもが寂しい思いをすることなく、食事ができるように市民自らが「子ども食堂」をつくる動きを市も応援すべきではないか。

部長―夜間保育実施の無認可保育園を訪問して実態を見た。運営や経営の仕方について相談に応じたい。「子ども食堂」の開店には、子どもの貧困問題があり、市としても実態を把握したい。(吉儀けい子の議

雲 仮設歩道設置へ
山 党の要望が前進

1月末の土砂崩れで通行止めになっていた出雲市多伎町の市道柳谷田儀駅前線の迂回路として、JR山陰線に並行する国道9号南側にこのほど、仮設歩道が設置されました。住民や日本共産党の要望が前進しました。

JR田儀駅に通じる市道は近隣住民の生活道路でした。住民から迂回路設置の要望が出され、日本共産党市委員会は国道南側に仮設歩道設置や安全確保などを申し入れていました。駅に近いに住む女性(80)は「歩道ができ

南 倒木の早期処理を
品 大和議員が質問

大和議員―1月23日(25日)にかけての大雪被害では、パイプハウス倒壊や倒木、除雪の遅延など各方面に影響を及ぼした。3月10日時点で、倒木処理は不十分で道路へのはみ出しや農地にかかったままのものもあり。二次災害の危険もあり早急な対応を。

町長―倒木処理はご指摘の通りであり、安全のために早急に優先して行っていきます。

部長―造林地内では未着手のものもあり、雨季になる6月までには対応する。(大和まみ議会議報「80」より)

大名誉教授は「署名の成果をふまえ、県民集会を2000人規模で開きたい。県民に訴え、広げ、高めていき、参院選勝利で戦争法廃止に道を開きたい」と語りました。

日本共産党の後藤勝彦県委員長、民進党、社民党の代表が発言しました。後藤氏は「野党統一候補が実現し、北海道5区補選などもあり、市民と野党が連携して政治を動かしていくことの力が有権者に伝わ

「安倍政権打倒」の情勢変化を実感 野党共闘勝利と党躍進を必ず

定数1の32選挙区で26まで市民と野党の統一候補が決まりました(15日現在)。あと6つも真剣な検討が続いています。野党の幹事長・書記局長

会談では、衆議院でもできる限りの協力をおこなうことを合意しました。

この間、愛媛のながえ孝子さん、鳥取・島根の福島浩彦さんと直接お会いし、お話をうかがいました。ながえさんは元衆議院議員、民放のアナウンサー。14日の四国中央市の演説会で「前回の総選挙の時、手書きのポスター『平和の日本を』を掲げてたたかいました。安倍政権の集団的自衛権を認める姿に怒りがふつふつ沸き、何かできることをと考えるようになりました」と心情を吐露。私も「保守王国と言われる愛媛から日本を変えましょう」と訴え。



トジャーナリストの志葉玲氏集会は入場無料で、フオの講演も計画されています。

江 安全・安心の医療・介護の実現を
松 県医労連がナースウエーブ集会

県医療労働組合連合会は12日、JR松江駅前で「安全・安心の医療・介護の実現を求めナースウエーブ集会」を開きました。白衣の看護師や介護福祉士など医療労働者、県議、行政関係者ら80人が参加しました。(写真)

佐野みどり委員長は「医

代表も参加。「共産党の演説会で訴えるのは初めてで少々緊張していますが、福島勝利へともにがんばろう」と檄。

志位委員長を招いた広島市の街頭演説会(14日)には史上最高の2000人超、みるみる膨れ上がり、行き交う若者がスマホで撮るわ、手を振っていくわと、びっくりするような雰囲気。なかには「歓迎、志位委員長」と手書きのポスターを描いた青年も。

12日に開いた中国ブロックの会合でも「ポスター

療・介護現場では、慢性的な人手不足により長時間・過密労働が常態化している。より良い医療や介護できるよう勤務環境改善の運動を強め、地域医療・福祉を守り、発展させましょう」とあいさつ。

県議会の自民党議員連盟の五百川純寿会長、民主県民クラブの白石恵子幹事長、日本共産党の尾村利成県議、県健康福祉部の藤間博之部長が激励あいさつをしました。

参加者は夜勤改善・大幅増員の署名行動も行いました。

参院比
院定候
予補

春名なおあき

爽風

エッセイ



福島さんを招いた出雲、松江の演説会(15日・写真)には民進党、社民党の

代表も参加。「共産党の演説会で訴えるのは初めてで少々緊張していますが、福島勝利へともにがんばろう」と檄。

志位委員長を招いた広島市の街頭演説会(14日)には史上最高の2000人超、みるみる膨れ上がり、行き交う若者がスマホで撮るわ、手を振っていくわと、びっくりするような雰囲気。なかには「歓迎、志位委員長」と手書きのポスターを描いた青年も。

12日に開いた中国ブロックの会合でも「ポスター



ーを張っていいよと電話。持っていったら掲示板を作っておられた」「共産党に入ってもよいとあちこちで」「かつて敵対していた地方議員が党議員と一緒に街頭キャラバン」など、びっくりほんの変化が次々紹介されました。安倍政権許すまじと情勢も、人の心も、大きく変化していること実感する毎日です。

三菱自動車の燃費偽装で生産ラインが停止している水島工場。下請けにいわせさせないために雇用調整助成金、セーフティネット保障等の活用は当然ですが、「不正が原因の事態に税金を使つてよいのか」との批判があるのも事実。11日、岡山県議団、倉敷・総社市議団と「三菱にすべて自分たちの責任で解決せよ」との責任提起してほしい」と岡山県に強く申し入れました。

(2016年5月21日付)